

COVID-19 感染拡大予防ガイドラインについて

大会事務局 和田圭吾

1. チーム健康状態の事前の報告義務（別紙 A）

『北海道中学校体育大会における新型コロナウイルス感染症に関わる参加等についての基本的な考え方について6月11日版』

『令和3年度全国中学校体育大会 第51回全国中学校バスケットボール大会 COVID-19 感染拡大予防ガイドライン』

『JBAバスケットボール事業・活動実施ガイドライン第3版（2021年1月20日版）』

『HBA2021年度各種大会・活動におけるガイドライン（注釈）（2021年4月8日版）』

上述のガイドラインに基づき、主催者が総合的に大会参加等を判断する。報告内容によっては、**選手・チーム**

に大会参加の自粛を勧告することもある。

特に**大会2日前**については、厳重に対処する。生徒や保護者への周知を合わせて行うこと。

参加チームについては、**【別紙 A】『大会直前のチーム健康状態報告書』を大会事務局に大会前日の7月27日(火)17:00までに提出**する。以下のアドレスにメールで報告する。データを添付するか、記入した報告書を写真に撮り、写真データを添付するか、のどちらかとする。

提出先

大会総務部長 大川潤 宛て jun.okawa@sapporo-c.ed.jp

2. 参加者が遵守すべき事項

- 以下の事項に該当する場合は、自主的に参加を見合わせる。 (大会前日・大会当日に書面で確認)
 - 体調がよくない (例：発熱・咳・咽頭痛などの症状がある場合)。
 - 新型コロナウイルス感染症と診断された者との濃厚接触がある。
 - 同居家族や身近な知人に新型コロナウイルス感染症の感染が疑われる者がいる。
 - 参加者本人又は同居家族が海外から帰国又は再入国し、当該帰国者が検疫所から自宅待機を求められている。

- 出場校の選手、引率者等は、大会前後 2 週間分（計約 4 週間分）の体調を【別紙 1】『健康管理表』に記録し、健康管理を徹底すること。
- マスクを持参すること。（受付時や着替え時等のスポーツを行っていない際や会話をする際にはマスクを着用すること）
- こまめな手洗い、アルコール等による手指消毒を実施すること。
- 施設の他の利用者、施設管理者、大会役員等との距離（できるだけ 2m 以上）を確保すること。（介助が必要な場合を除く）
- 大きな声で会話や応援をしないこと。
- 感染防止のために施設管理者・主催者が定めた措置を遵守すること。
- 試合に関わるすべての者（大会役員、審判、指導者、選手）は、大会前後 2 週間分（計 4 週間分）の行動を、【別紙 4】『行動履歴書』に記録し、保管しておくこと。
- 大会終了後 2 週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、主催者に対して速やかに報告すること。

3. 選手、引率者等および大会関係者の入場・受付に関すること

- 試合会場への入場は、ベンチメンバー（引率責任者 1 名、コーチ 1 名、A コーチ 1 名、マネージャー 1 名、選手 15 名）の 19 名以内と、登録外選手 10 名以内の合計 25 名以内とする。ただし、特別な事情がある場合については大会主催者に問い合わせること。
- 保護者の観戦は認めない。
 - ※これまでの北海道バスケットボール協会主催の大会は撮影のための代表数名は許可していたが、今大会は全試合を公式 YouTube チャンネルで動画配信するため、それも認めない。
- 第 1 試合に出場するチームの受付時間は開場時間（8：00）とする。第 2 試合以降に出場するチームの受付時間は、試合開始時間の 1 時間 45 分前を原則とする。
- 入口に設置してある非接触型検温計で、必ず全員がその場で検温を受けること。高温を測定した場合には、接触型体温計で、再度検温する。
- 手指消毒をすること。
- 各校の引率者は、事前に【別紙 1】『健康管理表』を回収し、ひとりひとりのチェック項目および朝の体温を確認する。不備がある場合は、保護者への電話連絡等を行い、確実に対応する。【別紙 1】『健康管理表』の内容をもとに、【別紙 2】『監督・選手等の健康状態報告書』を 1 日ごとに会場受付に提出する。
- 会場には、参加チームの選手及びスタッフ、派遣審判および大会役員・大会補助生徒のみが出入りする
- 毎日受付をし、ID カードを常に着用すること。

- 貸し切りバスで参加する場合、バスが長く路上駐車し、交通の妨げにならないよう注意する。
- 会場を出る際、健康調査を行い、体調不良者がいないかを再確認する。

4. 出場チームへのお願い

- 他校との交流を控えること。
- チームで出たゴミはすべて持ち帰ること。
※例年、弁当柄を置いていき、大会運営に支障をきたす場面が見受けられます。弁当柄の管理は特にお気を付けください。
- 選手はスタンドを控え場所とし、1席空けて座ること。
- ベンチや観覧席等、チームで使用した場所は責任をもって消毒を行うこと。
※試合後のベンチ消毒については、原則**チーム責任者が行う**こととする。
- 試合中の手指消毒および試合後のベンチ消毒について、消毒液は各チームで準備することを原則とする。
- 仲間と手をつないだり、肩を組んだりして行う円陣やハイタッチ等は行わないこと。
※選手のマスク着用については、原則マスク着用として、以下の表で場面を確認する。熱中症の危険がある場合は、選手の判断に任せるだけではなく、チーム責任者が指示を出し、熱中症防止に努めること。

場面	アップ前のミーティング	フロアでのアップ	ハーフタイムのアップ	試合前のアップ	試合出場中(オンザコート)	試合中(ベンチ)
マスク着用	義務 ○	義務 ○	義務 ○	原則 △	なし ×	義務 ○

※試合中のベンチでは、息が整うまではマスクをせずに、離れたところで待機する。息が整い次第、マスクを着用し、ベンチに戻ることをとする。

- スタンディングコーチおよびチームスタッフは、マスクを着用し、指示を出すこと。大きい声は出さないこと。
※マスクをずらして選手に話すケースが見受けられます。そうならないようご注意ください。
- 手洗い後に手を拭くためのマイタオルを持参すること。
- 衣類は個人で管理し、タオルやボトルなどを共有しないこと。
- 会場内で飲食する場合は、**【黙食】【同じ方向を向く】【人数を分け最少人数で取る】**ことを心がける。
- 試合終了後は、すみやかに退場すること。スカウティングのため、チーム複数名での事前来場及び試合後の観戦は禁止とする。(目安は試合終了後**60分以内**。)
- 出場チームの顧問は、大会に参加する選手および保護者に対し、参加にあたっての注意事項等を事前に説明し、**【別紙5】『参加同意書』**を提出させること。(学校保管)

5. 大会運営に関すること

- 無観客での開催とする。会場に入場を認められた者に ID カードを発行する。
- 開会式は実施しない。
- 会場内の動線を分ける。
- 会場で入口等に消毒スプレーを設置する。
- 試合会場のベンチは、できるだけ 2 メートル（最低 1 メートル）空け、選手同士が十分間隔をとれるようにする。
- 新型コロナウイルスの感染症対策と予防と熱中症予防の取り組みとして、メディカルタイムアウトを実施する。
- 大会期間中、選手や引率者等に体調不良がある場合は、大会本部に申し出るよう場内アナウンス等で確認を促す。
- 手洗い場に「手洗いは 30 秒以上」の掲示をする。
- 選手、引率者等および大会関係者が、こまめに手洗いを行えるよう、手洗い場に十分な量の石鹸等を設置するとともに、場内アナウンス等で手洗いを促す。
- 更衣室は一度に入室できる人数を入口付近に明示するとともに、係員を配置して、定期的に消毒を行う。
- 更衣室内に、選手同士の間隔ができるだけ 2 メートル（最低 1 メートル）空くように目印テープを貼り付けるとともに、換気に配慮する。
- 試合と試合の間に TO 席の消毒を行う。
- 試合が終わったチームは速やかに退場するよう場内アナウンスで促す。
- 表彰式は簡略化して行う。なお、閉会式は実施しない。
- 【別紙 2】『監督・選手等の健康状態報告書』【別紙 3】『大会役員等体調記録表』は、大会終了後 1 か月を目安に保管・管理し、その後適切に破棄する。

本部緊急連絡先

大会実行委員会事務局長 和田圭吾

080-3231-1698